

木本領家農業生産組合（福井県大野市）

組織の概要

- 福井県大野市木本領家地区の個人農家で構成
- 構成農家数 18戸
- 「共同作業型」の機械利用組合として活動
- 高齢化や後継者不足で個人での作付が減ってきている状況があることから、機械を共同所有するだけの組合から、組合員の農地を皆で計画的に作付し、農地を守っていく形に移行している



生産概要

- 【作付面積】水稲：24.4ha、大麦：11.8ha、サトイモ：1ha（R3年）
- 水稲・大麦・そばの2年3作体系を主軸として営農
- 機械利用組合として水稲、大麦、そばを共同生産している。



取組のポイント

<需要に応じた生産の取組>

- 実需者から需要のある「ファイバースノウ」を作付。

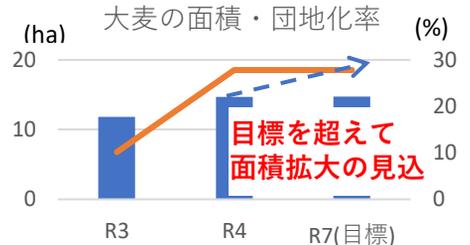
<団地化・先進的な営農技術の導入・機械の導入>

- 周辺の中・大規模農家と協議しながら圃場の団地化率の向上を図る。
- 「耕うん同時畝立て播種」が可能なロータリー・播種機・畝立て成形機の一連機器を導入したことにより、耕うん・成形、播種で別々に作業機を動かしていた作業を省力化。加えて、新たにコンバインを導入することにより、拡大した面積に対しても効率的に収穫し、実需の求める高品質な麦の生産に取り組む。
- 従前は、中央のみの明渠であったが、導入機器により、額縁明渠が可能になったことで排水性が高め、麦の単収向上を図る。

取組成果

<大麦の生産拡大・団地化>

- 生産体制の強化により作付面積が増加。
11.8ha (R3) → 14.7ha (R4) → 14.7ha (R7目標)
- 団地化率の向上
10.1% (R3) → 27.8% (R4) → 27.8% (R7目標)



<先進的な営農技術の導入>

- 先進的な営農技術導入により効率的な播種作業が可能に。
作業時間：40分/10a(R2) → 30分/10a (R4)

